

GoogleクラウドGCP初体験

ご購入はこちら

大橋 啓介

本稿では、IoTやAIの実験を行うときの基本となるクラウドGoogle Cloud Platform (GCP) の始め方(執筆時点)を紹介します。

必要なもの

GCPを始めるためには、まずプロジェクトの作成と、Google Cloud SDK (gcloudコマンド) のインストールが必要です。SDKは各種サービスをコマンドライン(CLI)から設定するために使います。

また、GCPを始めるためにはGoogleアカウントが必要です。GCPには課金の設定を行わないと使用できないサービスがあるため、クレジット・カードが必要です。

今回の実験レベルですと、ほとんどの場合、無料枠があるため、課金されることはないと思います。ただ実際には何かのはずみで課金される可能性もあるため、注意しながら実験を行ってください。

▶実験の前に

まず、Googleアカウントの取得や課金設定を行っておいてください。

その1: Googleクラウドのプロジェクトを作成する

プロジェクトの作成は以下の手順で行います。

手順1: ブラウザでCloud Consoleを開く

手順2: 表示される規約に同意する

手順3: 画面上部にあるヘッダの「プロジェクトを選択」をクリックする

手順4: 表示されるダイアログの「+」ボタンを押す

手順5: プロジェクト名、プロジェクトIDを設定する

手順6: 作成ボタンをクリックし、しばらく待つ

●手順1: ブラウザでCloud Consoleを開く

まずブラウザでCloud Console (<https://console.cloud.google.com/>)を開きます。

Cloud ConsoleはGCPの全てを触るためのコンソール

画面です。仮想サーバの作成・停止や、Datastoreに保存されたデータの確認、支払いの設定などGCPのほぼ全ての操作が行えます。

時々Chrome以外のブラウザでは操作が行えない場合があるため、Chromeでアクセスすることをお勧めします。

●手順2: 表示される規約に同意する

初めてCloud Consoleにアクセスすると、GCPの規約に同意するための画面が表示されます(図1)。

同意をまだ行っていない場合は、規約をよく読み「同意して続行」ボタンをクリックすると次に進めます。

●手順3: 画面上部にある「プロジェクトを選択」をクリックする。

GCPでは「プロジェクト」という単位で、GCP上のリソースを管理できます。Cloud Consoleの画面上部に「プロジェクトを選択」というテキストが表示されているのでクリックすると、プロジェクトの選択ダイアログが表示されます。プロジェクトが既に存在する場合は、一覧として表示されています。

●手順4: 表示されるダイアログの「+」ボタンを押す

表示されたダイアログの中にある「+」ボタンをクリックします(図2)。

新規にプロジェクトを作成するための画面が表示されます。

●手順5: プロジェクト名やIDを設定する

新規プロジェクト作成画面が表示されるので「プロジェクト名」と「プロジェクトID」を設定します。

プロジェクトIDには最初、ランダムな値が設定されます。Google App Engineを利用する際に提供されるURLのプレフィックスになります。

変更したい場合はプロジェクトIDの右にある「編集」リンクをクリックします(図3)。

プロジェクトIDは世界で唯一の値を設定する必要